

# えんがわ

第30号

2009年9月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## その身になって

三十数年前、特別養護老人ホームの運営に携わっておりました。当時は、お年寄りについて「模索の時代」でもありました。利用者の人権を尊重し、その人の身になって、障害、状況に応えるためにどうするか。ホームの全ての職員で、いかにベストを尽くして介護するか、夜遅くまで議論を重ね、みんなで次の様な申し合わせをしました。「若い」を共感、受容して【随時介護】を共に感じ合い、受け容れると一口に言っても、時に相手がお年寄りであることを忘れて、自己中心的な価値感で接してしまふことが多々ありました。

その中で、「若い」の大先輩として私どもは先達より「人生」を学んでいることに気付かされました。「世話をする」から「お世話させて頂く」姿勢へと切り替えることが出来たのです。一人ひとりのたゆまざる自己研磨と謙虚さを実感した日々でもありました。そして、そこから自然と「気配り」が生まれました。

衣笠病院グループ

法人事務局長

菅宮建吉



## えんがわ在宅 ひんがくちんがわ在宅 薬を飲みやすく するための工夫

薬剤師のお仕事って、単に患者さんのお薬を作っているだけだと思っていませんか？もちろん、患者さんのお薬も作ってはいませんが、患者さんのベットサイドに伺ってお薬の説明をしたり、点滴を作ったり、医師・看護師さんをはじめ、あるゆる医療スタッフとチームを組んで患者さんに安心してお薬を飲んでもらうために日夜頑張っていると思います。その中で、お薬を飲みやすくするための工夫を、今回はご紹介したいと思います。

そのわずらわしさを無くすために、「一包化」という方法があります。一包化とは、薬剤師が朝・昼・夕・寝る前といったように、ひとつの袋に一回分の薬をまとめて入れておくことです。これだと飲み間違える心配はありませんし、安心して服用して頂けるかと思いません。こういったサービスを色々行っておりますので、お気軽に薬剤師までご相談下さい。



衣笠病院

薬剤師

小瀬 英司

暑さ寒さも彼岸まで…。もう少して過ぎしやすい秋がやってきますね。

季節の変わり目なので体調を崩さないように気を付けてください。

